

## 第2次中期計画【概要】

# 成城学園第2世紀プラン2021

期間：2021年度～2023年度(令和3年度～令和5年度)

### 学園目標

いつの時代にも「質の高い教育」を実践し「変える力」を育みます。

#### 重点事項

- ▶ 三本柱(国際、理数系、情操・教養)のさらなる充実・深化
- ▶ ワンキャンパス、一貫校を活かした特色の強化
- ▶ 学校間の連携強化

2017年の成城学園創立100周年を機に、学園の“第2世紀”に向けて、教育改革を核とした中期計画「成城学園第2世紀プラン」(2014年度～2020年度)を策定、実践してまいりました。

2021年度からは、上述の重点事項を核に「成城学園第2世紀プラン」をさらに深化させる形で新たな中期計画を予定していましたが、その検討の最中に新型コロナウイルス感染症が全国に拡大し、成城学園も休校を余儀なくされる事態となりました。

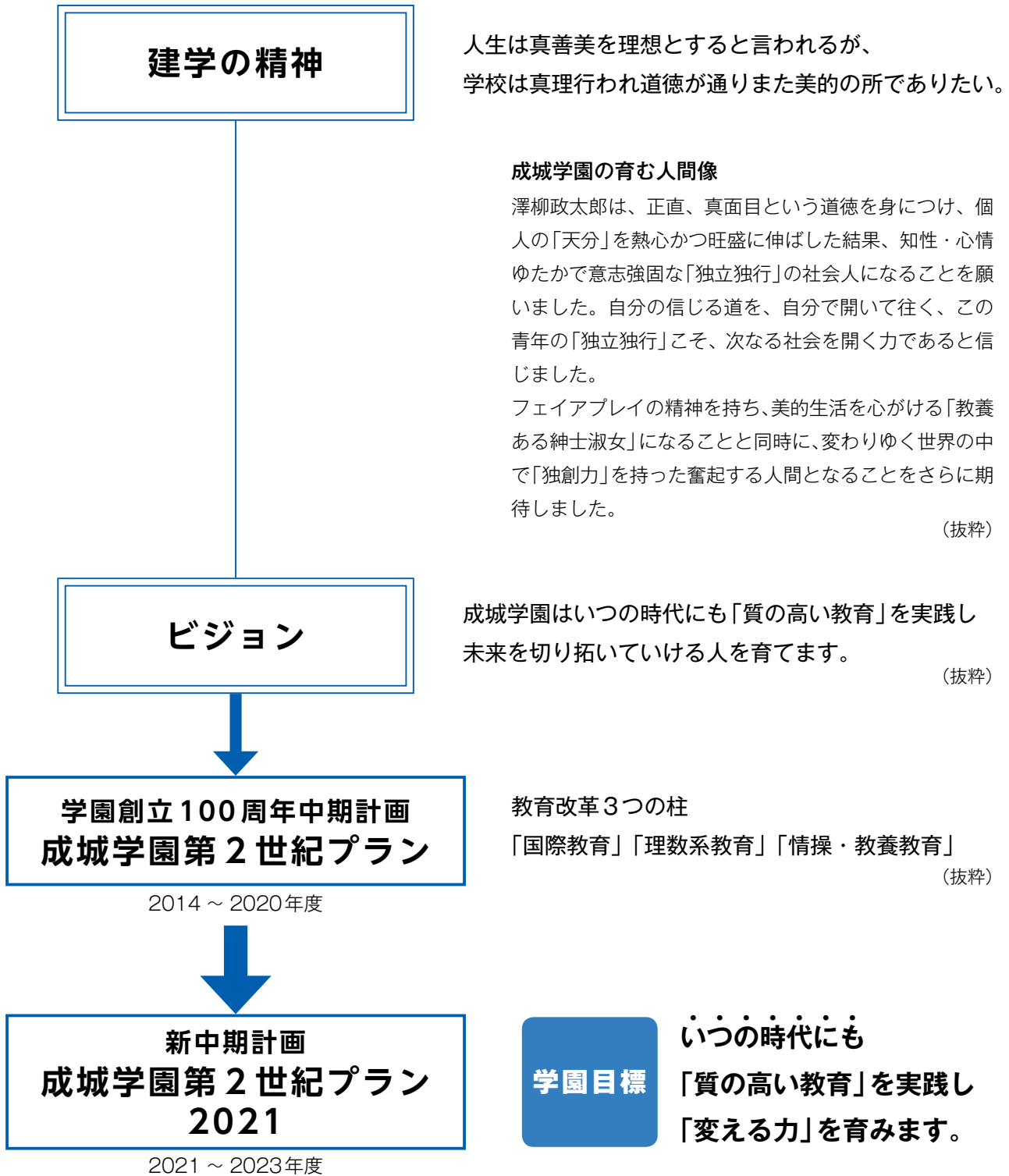
コロナ禍は、新たな教育のあり方への変化を促し、学園の使命こそ変わらないものの、国際交流やデジタル化等、その具体的な施策に大きな変化を及ぼそうとしています。正に新たな教育方法を真摯に取り組む必要性が生まれました。

そこで次期中期計画は、当初5ヶ年の予定を3ヶ年に短縮しました。

大きく変わろうとする社会において、現時点では5年先を見通すことが困難だと判断したことに加え、社会の変化に対処・対応する期間として、あるいはその先の社会状況を見極めるための期間として、3年間の計画としました。

また、経営執行会議の下に中期計画点検委員会(仮称)を組織し、進捗状況の確認・評価・改善を重ねながら、実現に向けて確実に歩んでまいります。

コロナ禍で加速したデジタルシフトやSociety5.0やSDGsといった「新しい時代」を視野に入れ、成城学園らしい人間性とデジタルを融合させ、新しい教育を目指していきます。



## 構成と特徴

中期計画「成城学園第2世紀プラン2021」では、学園の活動を次の6カテゴリーに分けて示します。

- |             |             |
|-------------|-------------|
| I. 教育活動     | IV. 教育環境整備  |
| II. 研究活動    | V. 財務計画     |
| III. 社会連携活動 | VI. 組織・運営体制 |

「I. 教育活動」では、ワンキャンパス・一貫校の特色を強化し、かつ、学園各校の連携を強化するため、それぞれ以下の3項目を明示します。

- (1) 求める生徒・学生像
- (2) 特色ある教育
- (3) 育成する人材

### 学園目標

求める生徒・学生像	好奇心と学ぶ姿勢を持つ前向きな人 他者の個性も受け入れられる誠実な人 学園の教育方針を理解する人
特色ある教育	教育改革三本柱を核とした一貫教育を深化させ、 質の高い教育を実践する。
育成する人材	物事を「変える力」を持った人材

教育活動に係る中期計画は「(2) 特色ある教育」に相当しますが、「(1) 求める生徒・学生像」と「(3) 育成する人材」を明示し、再確認することで、学校間連携を強化します。

「(2) 特色ある教育」は、次に掲げる教育改革三本柱を中心に構成します。

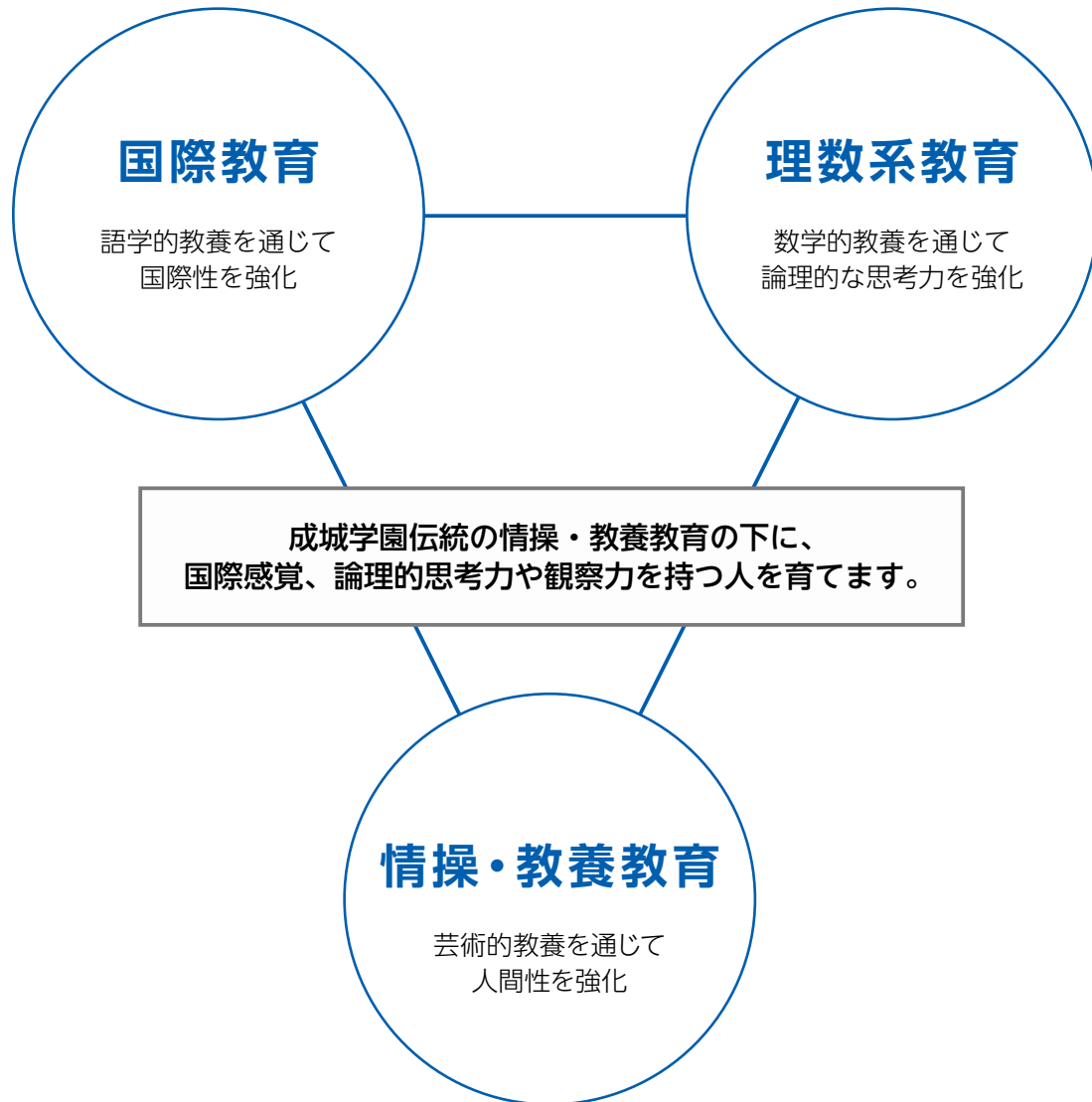
- (A) 国際教育    (B) 理数系教育    (C) 情操・教養教育

さらに、「(A) 国際教育」は「(a) 語学教育」「(b) 国際交流」に、「(B) 理数系教育」は「(a) 論理的思考力」「(b) デジタルスキル」「(c) 科学教育・環境教育」に細分化し、詳細な計画を立案しています。

「(1)求める生徒・学生像」「(3)育成する人材」を明示し、再確認することで、学校間連携を強化します。

	求める生徒・学生像	育成する人材
幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>(i)「楽しい」と感じることを、多く体験している子ども</li> <li>(ii)人が大好きな子ども</li> <li>(iii)様々な活動において「がんばろう」という気持ちがある子ども</li> </ul>	幼稚園の学びで育つ「5つの力」を身につけた子ども <ul style="list-style-type: none"> <li>(i)自分の考え、感情に気付き、表現する力</li> <li>(ii)自分を愛する力</li> <li>(iii)人の気持ち、考え方を理解する・思いやる力 (コミュニケーション能力)</li> <li>(iv)計画的に物事に粘り強く取り組む力(前向きの耐性)</li> <li>(v)自分で発見する力</li> </ul>
初等学校	子どもらしい子ども <ul style="list-style-type: none"> <li>(i)心身ともに、健康な子ども</li> <li>(ii)情操豊かで、想像力あふれる子ども</li> <li>(iii)友達と仲よく遊び、思いやりのある子ども</li> <li>(iv)自分で考え、意欲的に生活に取り組む子ども</li> <li>(v)人の話に耳をかたむけられる子ども</li> </ul>	次に掲げる4つの資質・能力を身につけた子 <ul style="list-style-type: none"> <li>(i)人とのつながりを大切に、全ての個性と価値観を受け入れる、ひらかれた心</li> <li>(ii)自然をはだで感じられる、健やかでたくましい心身</li> <li>(iii)想像力、表現力を持ち、積極的に自己表現できる力</li> <li>(iv)知的好奇心を持ち、何事にも意欲的に取り組む力</li> </ul>
中学校 高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>(i)好奇心と知識欲が旺盛で、全ての個性と価値観を受け入れる心の自由さを持つ人</li> <li>(ii)自分の限界を決めず、新しいものに挑戦しようとする創造力と行動力を持つ人</li> <li>(iii)人とのつながりの中で学び、コミュニケーションを生み出す力を持つ人</li> <li>(iv)「自学自習・自治自律」という本校の教育方針に基づく教育内容を理解し、学ぶ意欲を持つ人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(i)様々な体験を通して得た深い教養を、自己変革と社会における課題解決につなげる力を持つ人</li> <li>(ii)グローバル社会の中で、個としての価値観を持ち、社会に能動的に関わる意欲を持つ人</li> <li>(iii)英語を使って論理的に考え、議論する力を持つ人</li> <li>(iv)自らの課題発見とその解決のために、デジタルの力を有効活用できる人</li> </ul>
大学	知識・技能 <ul style="list-style-type: none"> <li>(i)高等学校の教育課程を通じて、大学での学修に必要な基礎学力を修得している者</li> </ul> 思考力・判断力・表現力 <ul style="list-style-type: none"> <li>(i)経済・社会・文化・歴史や人間に対して旺盛な関心を持ち、様々な情報に基づき考察を行い、その結果を他者にわかりやすく説明することができる者</li> </ul> 主体性・多様性・協働性 <ul style="list-style-type: none"> <li>(i)多様な文化・価値観の違いを認識し、他者を尊重し、主体的に協働する意欲を持つ者</li> </ul>	知識・技能 <ul style="list-style-type: none"> <li>(i)幅広い教養及び各学部・学科の専門知識・技能を身につけることで、筋道を立てて物事を俯瞰的に把握し、課題を発見・解決することができる</li> </ul> 思考力・判断力・表現力 <ul style="list-style-type: none"> <li>(i)社会の諸事象について主体的かつ総合的に判断できる能力を身につけている</li> <li>(ii)国際的な視野から世界と日本を見つめ、グローバル社会を生き抜くためのコミュニケーション能力を身につけている</li> </ul> 主体性・多様性・協働性 <ul style="list-style-type: none"> <li>(i)豊かな人間性を持ち、多様な人々と協力して社会に貢献する意欲と能力を身につけている</li> </ul>

「(2)特色ある教育」は、教育改革三本柱を中心に構成します。



# I. 教育活動「特色ある教育」の各校のつながり

## (A) 国際教育：(a) 語学教育

### 学園目標

日本語を母語としない人たちと流暢でなくとも自分の考えをしっかりと伝え、また、相手の主張を理解できる語学力とりわけ英語力を身につける。国際会議に参加し討論できる英語力が身につくことを理想とする。

#### ■ 幼稚園

- 1) 外国人に対し物怖じせず、コミュニケーションを図りたいという意欲を育てる。
- 2) 英語の音、響き等に対する感覚を身につけ、実践しようとする。
- 3) 学園英語一貫教育の入口として、初等学校以降へのスムーズな接続を図る。

#### ■ 初等学校

英語を英語のまま理解する態度を持ち、外国語の「聞く」「話す」「読む」「書く」の技能を統合的に活用しながら、積極的にコミュニケーションができる。  
6年生での英検4級取得相当の英語力を身につける。

#### ■ 中学校高等学校

- 1) 4技能をバランス良く伸ばすことを目的に、中2修了時に英検3級、中3修了時に英検準2級の取得を目指す。  
また、高2修了時にCEFR-J B1.2の英語力を身につけ、英検2級全員取得を目指す。
- 2) 英語で積極的にコミュニケーションをとる活動を充実させ、英語運用能力を身につける。また、新しい大学入試にも対応できる英語力を身につける。

#### ■ 大学

異文化交流を円滑に行える語学力を身につけることを目標とする。  
特に海外留学の際に求められる英語能力については、本学が協定を結ぶ英語能力が必要な交換留学先のいずれの大学にも留学可能なIELTS 6.0ないし6.5程度の語学力修得を目標とする。

## (A) 国際教育：(b) 国際交流

### 学園目標

文化的背景の異なる人々との交流を通して、わが国の文化とともに異文化の理解を深める。

#### ■ 幼稚園

- 1) 世界を知る第一歩として、まず日本の文化を体験し、理解させる。
- 2) 英語を通して他国の存在を知るとともに、その文化への興味・関心を持ち、理解を深める。
- 3) 英語以外にも多くの言語が世界に存在することを知るとともに、英語圏以外の文化への興味・関心を持ち、理解を深める。

#### ■ 初等学校

学習した英語を用いてコミュニケーションを図る機会を提供し、世界の多様な価値観に触れ、自主性と共に相手を思いやる心情を育てる。

#### ■ 中学校高等学校

本校独自の留学プログラムを充実させ、帰国後もオンライン等を活用し、外国語の授業に限定せず、総合的な学習の時間や行事等を通じて、交流を主体的な学びにつなげる。

#### ■ 大学

異文化理解に努める国際人の育成を目標とする。

## (B) 理数系教育

### 学園目標

#### (a) 論理的思考力

プログラミング的思考を通して論理的思考力を身につけ、自分の意見をしっかり言えるディスカッション力をつける。

#### (b) デジタルスキル

ICT機器活用能力にとどまらず、情報化社会で必要とされる様々な情報活用能力を身につける。

#### (c) 科学教育・環境教育

恵まれた自然環境と充実した設備を活かした教育の実践。

### ■ 幼稚園

#### (a) 論理的思考力

- 1) 自分の主張を伝える力をつける。
- 2) 相手の考えを聴く力を養う。
- 3) 解決策を考える力を育てる。
- 4) 計画的に物事に取り組む力を育てる。

#### (b) デジタルスキル

- 1) ICTの楽しさを体感させる。
- 2) 子どもたちの興味関心、理解促進のために、日々の活動にデジタル技術を取り入れる。
- 3) 情報を整理、分析したり、判断する力を育てる。
- 4) ICT機器を扱う際の適切な使い方(態度やマナー、モラル)を身につけさせる。

#### (c) 科学教育・環境教育

- 1) 自然への関心を育てる。
- 2) 植物の生長への興味・関心を育てる。
- 3) 自然科学への興味・関心を育てる。

### ■ 初等学校

#### (a) 論理的思考力

あらゆる教科において、筋道立てて、考察・説明しようとする経験を積むことで、論理的に考える資質・能力を育成する。

#### (b) デジタルスキル

- 1) 様々な電子機器、ICT機器を利用し、表現する技術を習得する。
- 2) 電子機器、ICT機器を利用して、効果的な情報収集をし、情報の取捨選択をするとともに、正しく情報活用ができるようにする。
- 3) 電子機器、ICT機器を利用した表現活動や映像作品の鑑賞を通して、創造性を養う。

#### (c) 科学教育・環境教育

- 1) 自然や日常事象との関わりを通して、そこから見出される様々な問題を、「生きてはたらく知識・技能」を用いて、探求していく姿勢を育成し、人間を含めた自然を愛する心情を養う。
- 2) 本物に触れ合うことで、地質学への興味関心を持たせるために「恐竜・化石ギャラリー」を活用する。



## ■ 中学校高等学校

### (a) 論理的思考力

課題を発見し解決する能力を育成するために、日常的な授業に加え、次の施策を展開する。

[中学] 宿泊行事(中3)等でのPBLを主体とした取り組み

[高校] 自由研究での「SDGs講座」開設

これらの中で、事前学習、企画力の育成、Zoom等での交流、現地調査と触れ合い、事後発表、継続的な交流を行う。

### (b) デジタルスキル

1) 協働学習の場を拡張することを目的として、教科、特別活動で生徒にデジタル機器を活用させる。その際、個々の生徒の活動の成果を蓄積すること(ポートフォリオの作成)や広く発信できるようなデジタルスキルの定着にも重点を置く。

2) 学校行事等、機会あるごとに生徒を主体としたGoogle formsでのアンケート調査を行い、それらを分析しつつ、改善につなげる。

3) 情報モラル教育を拡充する。

### (c) 科学教育・環境教育

1) 理系の専門の研究者を講師に招いての「サイエンス教室」の継続実施・企画内容の充実、さらに新設された「恐竜・化石ギャラリー」の活用等を通して、生徒の科学に対する興味関心を高める。

2) ICTを利用した 数学教育の充実、理科実験教室を活用したカリキュラムの構築、理数コース(高2・3)向けカリキュラムの充実と、新しい課外教室を企画・設置する。

## ■ 大 学

### (a) 論理的思考力

非理を忌避する姿勢を身につけることを目標とする。

### (b) デジタルスキル

データサイエンス(DS)を中心に、情報活用能力の修得を目標とする。

## (C) 情操・教養教育

### 学園目標

学園伝統の情操・教養教育を深めていく。  
加えて、情報や情報化社会に対する理解といった新時代の教養も深め、高い人間性を育てる。

#### ■ 幼稚園

- 1) 子どもたちの想像力を育て、人の気持ちへの理解を深める。
- 2) 友達と一緒に協力して行うことの楽しさを知り、その感覚を養う。
- 3) 芸術に対する感受性を育て、さらにその能力を伸ばし、創造力や表現力等の感性を磨く。

#### ■ 初等学校

出合いや関わりを大切にし、言葉や文字、歌や身体等、様々な表現方法で思いを伝える経験をすることで、心を解放し、互いに感性を磨き、豊かな表現力を育む。

#### ■ 中学校高等学校

- 1) 生徒の学びの集大成となる発表や演奏会等、各教科における表現活動の場の充実。
- 2) デジタルスキルを活用した文化部活動における発表や発信の機会を設ける。
- 3) 生徒が主体的に関わり、各々の心身の成長に結びつくように、行事や部活動の運営方法を見直す。

#### ■ 大 学

自己の個性を伸ばし、かつ他者の個性を尊重する姿勢の学びを通じ、協働性に富む人材の育成を目標とする。

教育活動以外は、次に掲げる学園目標の下で、それぞれの取り組みを実施します。

## II. 研究活動

### 学園目標

学術研究を発展させ、教育研究の実践と深化を図る。

## III. 社会連携活動

### 学園目標

教育研究成果の社会還元や地域交流はもちろんのこと、防災・防犯等についても改めて地域との連携を見直し、強化する。

## IV. 教育環境整備

### 学園目標

新しい教育手法に対応できる環境を整備する。

## V. 財務計画

### 学園目標

中期計画に基づく財務計画の立案・執行。

## VI. 組織・運営体制

### 学園目標

- 1) 新時代に対応できる教職員の育成  
学校が生き残るために、学校も変わり、それを支える教職員も「変える力」を持つ。
- 2) 安全な学園(防災、防犯、感染症対策)  
子どもの安全を第一に考えた体制の再確認。
- 3) ガバナンス体制の強化  
中期計画のPDCAサイクルの徹底。  
(私立大学連盟のガバナンスコードに基づいたサイクルの実現)
- 4) 広報戦略  
少子化時代の志願者の「数」と「質」の確保(発信の手段と内容の改革)。

## 第2次中期計画 全体構成

	学園目標	大学	中学校高等学校	初等学校	幼稚園	法人
<b>I. 教育活動</b>						
(1) 求める生徒・学生像						
(2) 特色ある教育						
(A) 国際教育						
(a) 語学教育						
(b) 国際交流						
(B) 理数系教育						
(a) 論理的思考力						
(b) デジタルスキル						
(c) 科学教育・環境教育						
(C) 情操・教養教育						
(D) 学校独自の分野						
(3) 育成する人材						
<b>II. 研究活動</b>						
<b>III. 社会連携活動</b>						
<b>IV. 教育環境整備</b>						
<b>V. 財務計画</b>						
<b>VI. 組織・運営体制</b>						
(1) 新時代に対応できる教職員の育成						
(2) 安全な学園(防災、防犯、感染症対策)						
(3) ガバナンス体制の強化						
(4) 広報戦略						